

敬天千里眼情報

知性も理性も感じられない地方議員の体たらく 水戸市議会議員・松本勝久先生のご都合主義③

松本勝久先生（74）は昭和54年に初当選を果たし現在は9期目で、自民党系会派・改革水戸の会長を務めるベテラン議員だ。

平成22年8月のこと、松本先生が、所有する農地を転用許可を得ずにビルを建て、事務所や自宅の庭として約30年間も違反状態で使用していたことが発覚した。固定資産税を過少に支払うなどの違法行為として新聞でも取りざたされた。

本人は気がつかなかったと悪意を否定していたようだけど、現職の農業委員でもあったから、制度を熟知する立場にありながら違法行為をすることは「市民の全体の代表者として、品位または名誉を損なう行為」と痛烈な批判を受けていた。

ところが、問題調査にあたった市議会政治倫理審査会が、違反は認められなかったとの見解を示した。

その理由は、問題発覚後に「畑」から「宅地」への地目変更が登記されていることから違反とはいえないというものだった。

問題発覚後に出した農地転用の届けを農業委員会が認めたということだ。

この松本先生の例があるのだから、笹沼会長の乗馬クラブ開発も問われないのは当然だ。

ということは、水戸市内では安く買い叩いた畑にバンバン建売住宅を建て、ボロ儲けしても罪を問われないということか。

水戸市とは、あと出しじゃんけんで勝っても認められてしまう弱肉強食の街なのか？

このような不条理がまかり通るなら、農業委員や議員の関係者で不動産業を営む者もいるのではないか？

違法行為を合法と認めて治めるというこの不条理の原因は、どうやら市職員の失態を痛烈に議会で罵倒する松本先生の強権質疑にヒントがありそうだ。

この男、私利私欲を意のままに、どぎつい手段で地位や名声を手に入れてそうだ。

農地転用など氷山の一角かもしれないな。

つづく。

敬天千里眼情報は、世の中に蔓延る巨悪を糾弾する
敬天新聞のFAX版です。

<http://www.keiten.net>